

Vol.262 2023 12月

会長の
ひとりごと
【住宅】

アサヒグローバルホームの『MISSION』

全ての「会長のひとりごと」がWEBで読める!
『くぼかわよしみち.com』

くぼかわよしみち.com

検索



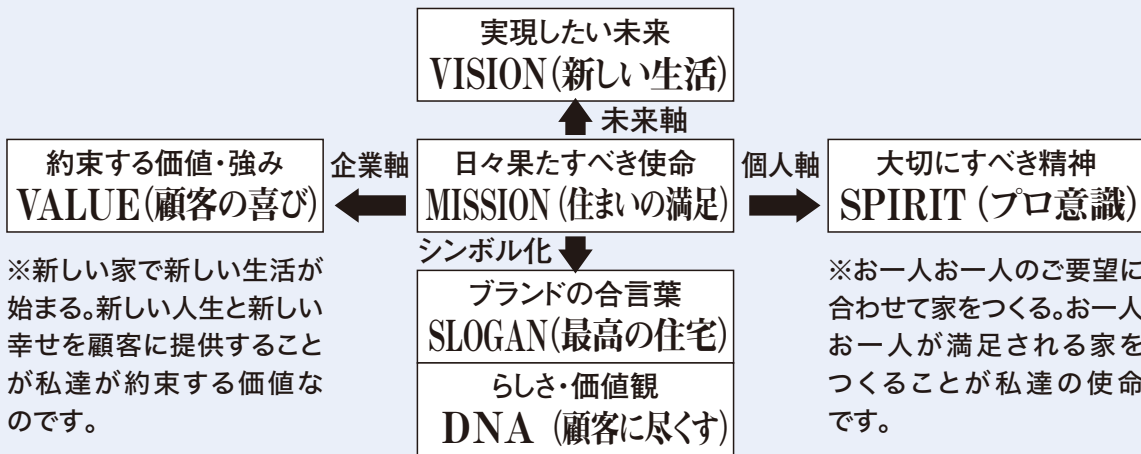
毎月
20日
更新!!



スマイシアHD株式会社 代表取締役会長
アサヒグローバルホーム(株) 取締役会長
ゴールドトラスト株式会社 取締役会長
ゴールドエイジ株式会社 取締役会長

文/久保川 議道
text:Yoshimichi Kubokawa

アサヒグローバルホーム(株)は住宅事業の会社です。これがミッション関連図です。



私は今危険な判断をしようとしています。それは売れなくてもいいので、契約がゼロでもいいので『世界標準住宅』を発売したいということです。何故売れない住宅を販売したいのか。その理由はそれが私に与えられた使命だからです。今やらないともうできないと思うからです。25歳で独立して住宅を一生懸命に作って48年が経ってしまいました。私はもう72歳です。そして日本では私しかできないことを、今やらないという強い思いに突き動かされています。売れなくてもいいので販売したい。当然、売れないと販売の事業部は倒産です。しかし倒産してもいいので売りたい。世界の標準住宅はやはりドイツの気密断熱住宅です。100年耐用が当たり前で、住む人の健康にも十分に配慮された住宅です。その証拠に日本は世界長寿なのに『不健康期間』がドイツ6.9年、日本12.7年ですから世界長くなっています。日本の住宅はドイツと比べても2倍も『健康寿命』が短くなっているのです。そして家が原因でお亡くなりになる人数は年間17,000人。交通事故死亡者数4,600人の3.7倍ですから酷い話です。私の主張する『家が病気をうつくる』は、どうも正しいようです。私はドイツには毎年行っていましたので、ドイツの住宅は十分に体感で理解して分かっています。それは何故でしょうか。一言で申し上げます。

すると、日本の住宅建設の政府の基準がドイツ基準と比べて30年も遅れているからです。大手ハウスメーカーの最新の省エネや断熱やZEHの基準さえ、30年遅れなのです。もう考えられません。日本は科学の進んだ製造業では世界だと言われているのに、住宅だけが何故30年遅れなのでしょう。

答えは1つです。日本のハウスメーカーは世界の中で日本だけが全て工場で作られているので、ドイツ標準の家は作れません。ドイツ気密断熱住宅は壁厚270mm、屋根厚330mmですから工場では作れません。政府も業界を守るために作れと言われないのです。だから30年も遅れている。そして消費者が全ての被害を受けているのです。私はそれをよく理解しています。

国民全員がそれを知らない、知らされていない。だから私がこの家を発売しても誰も興味を持ってくれないし、買いたいと思わない。しかし私は売れなくても興味を持ってくれないので販売したい。それは私の最後の願いというか、強烈な使命感なのです。この家は日本で作れば坪当たり100万円以上でないと買えない住宅ですが、私は100棟限定販売で30%引きの坪70万円販売するつもりです。商売というものは、売り上げや利益だけで行なうてはいけません。損をしてもいいので人のためになることを行うべきなのです。

わくわく!! 夢ニュース

【住宅】

犬と楽しく暮らす家づくり Vol. 262

中も外も、のびのびと快適に。
犬と暮らす家特集

2023

12

December

